

1月の行事予定

～3日(日) 休園
 8日(金) 誕生日
 13日(水) 避難訓練
 14日(木) もちつき
 27日(水) 人形劇

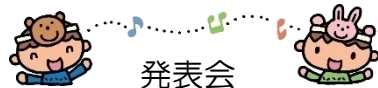
※各行事は感染症拡大防止の為、状況により縮小・中止となる場合もあります。

2月の行事予定

2日(火) 保育園公開
 5日(金) 誕生日
 10日(水) 避難訓練
 19日(金) たき火会
 24日(水) 新入園児説明会、入園前健康診断

小学校入学説明会1日体験入学

1月28日(木) 警梨小学校	2月 3日(水) 山陽小学校
1月29日(金) 石相小学校	2月 5日(金) 桜が丘小学校、山陽東小学校
	2月12日(金) 山陽北小学校



発表会

2～5歳児クラスの入替え制で行いました。普段のあそびの様子の1コマでしたが、こどもたちの成長を見ていただくことができたと感じています。こどもの様子を温かく見守っていただきありがとうございました。

発表会の写真販売は年明けに行う予定です。

逸見 祐紀



大掃除

こどもたちと大掃除をしました。『大掃除にはその年の厄やけがれをはらう』『年神様を迎える』ために行くとされています。

今年の厄『コロナ』を払えるよう、みんなできれいにしました。そして新年が良い年になるようにと願いました。

河田 美波



園だより NO. 425号

くまのこだより



令和3年(2021)年1月4日(月)発行
 さくらが丘保育園

社会福祉法人 岡山こども協会

言葉を受けとめる

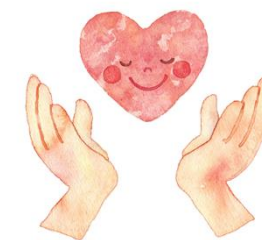
さくらが丘保育園に来て5年が経とうとしています。始めの頃はこどもたちが怪我をしてきたときに、どう声をかけたらよいのか分からないときがありました。小さな傷でも痛いと言くと泣くこどもから、「痛くないの?」と聞き返すくらい傷でも平気な子まで、いろいろな子がいたからです。

ある日のことです。園庭で怪我をしたAさんは泣きながらすすらへ来ました。その子の膝には傷ができていたため、「痛かったね」と私も痛そうに声をかけました。何があったのかを話を聞きながら手当をしていると涙が止まりました。最後に「カットバンやガーゼが外れたら教えて欲しいこと、痛みが続いたり赤く腫れてきたりした時にも教えてほしい」と伝えると、何事もなかったかのようにクラスに戻っていきます。

このような経験を積み重ねていく中で、「涙を止めるために必要なのは、自分の気持ちをまず受け入れてもらうことなのではないか」と感じるようになりました。こどもたちの痛いという感情を、私たち大人が受け入れることでこどもは「この人はわかってくれる」と感じ取れるからかもしれません。

こどもの気持ちを理解するには話を聞くことが大切なのだと感じています。私からこどもたちに伝える「大丈夫だよ」という気持ちがこどもに受け止めてもらえるように、こどもたちから受け取った「痛い」を受けとめたいと思います。

看護師 秦 絹枝



職員紹介(くじらぐみ)

①高原 泉
 ②神社近くの用水に入ってサワガニを探したり、野山で木の実を拾ったり、山に入って探検ごっこをしたりと自然の中で時間を忘れて遊んでいました。



教えてください。こんなこと。

- ①名前
- ②こどものころ好きだった遊び

①種子島 綾
 ②山陽団地で育ち、こどもも多くいたあの頃は、公園に行けば誰かしら友だちがいて、ひたすら戸外で遊んでいました。そのおかげで?いつも真っ黒でした。

住所 赤磐市桜が丘東 6-6-704
 電話 (086)995-0104
 IP電話 050-3494-4820
 FAX (086)995-0164

HPのアドレス

<https://sakuragaoka.okayamakodomokyoukai.jp>



はなぐみ

0歳児

保育者とのふれあい遊びが大好きで♪バスに乗って…を唄うと保育者の膝の上に乗って

きます。膝を上下に動かすと大喜びしています。”もっともっと”と言わんばかりに自分たちでも膝を屈伸させて飛び跳ねることもたちです。

矢野 怜佳



ゆきぐみ

1歳児

戸外へ出ると一番に向かう先は、三輪車がある倉庫です。三輪車でいろんなところを探索していることもたちは、最近道に沿って走ることができるようになりました。ペダル付きの三輪車に挑戦しようとする子もいます。

佐藤 麻美



にじぐみ

2歳児



砂場やままごとハウスでお店屋さんごっこをするのが好きなにじ組。砂を食べ物に見立てたり、食べ物の型を使ってたくさんごちそうを作ったりしています。「いらっしゃいませ」や「〇〇です」「〇〇作っとなよな」などと友だちと会話しながら楽しんでいます。

部屋でも外でも楽しみながら、異年齢児とも一緒にごっこあそびを楽しみたいです。

逸見 祐紀

そらぐみ

5歳児



『ピッポー』というカードゲームを楽しんでいます。頭の中で考えてカードを探し、見つけると「あった」と言って指をさして正解するとカードを嬉しそうに貰っています。最後に誰が一番多くとれたかカードの枚数を数え、勝った人は「こんなにとれた」と保育者や友だちに伝えて嬉しそうです。負けても「もう一回しよう」と何度も遊びたくなるカードゲームです。

尾澤 舞

今月の1枚 テーマ

〈こどもたちのすきな遊び〉



ほしぐみ

4歳児

“だるまさんがころんだ”や“鬼ごっこ”が大好きで、戸外に出ると友だちや保育者を誘ってあそびが始まります。

写真は、こどもたちで誘い合い、“だるまさんがころんだ”をしているところです。鬼はみんなの動きが止まっているか、よく見て動いてしまった子を呼びます。呼ばれてしまった子も思わず「動いちゃった」と笑顔になりました。

河本 真里



つきぐみ

3歳児

カードめくり(神経衰弱)をしています。数人で集まって、まずは礼儀正しく「お願いします」の挨拶から。じゃんけんで順番を決めたら、左回りで一人ずつめくっていきます。

速さや力に関係なく、自分の番があって、夕方の合同保育の時にはクラスを超えてお手合わせすることも。自分が取れても、友だちが取れても手を叩いて喜ぶ姿に成長を感じます。

大崎 久美子

